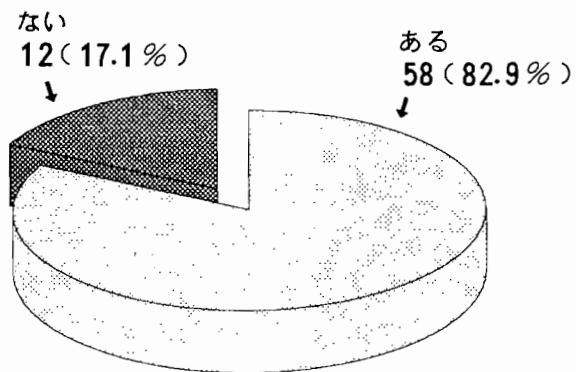


パソコンと就労意識についての アンケート調査結果

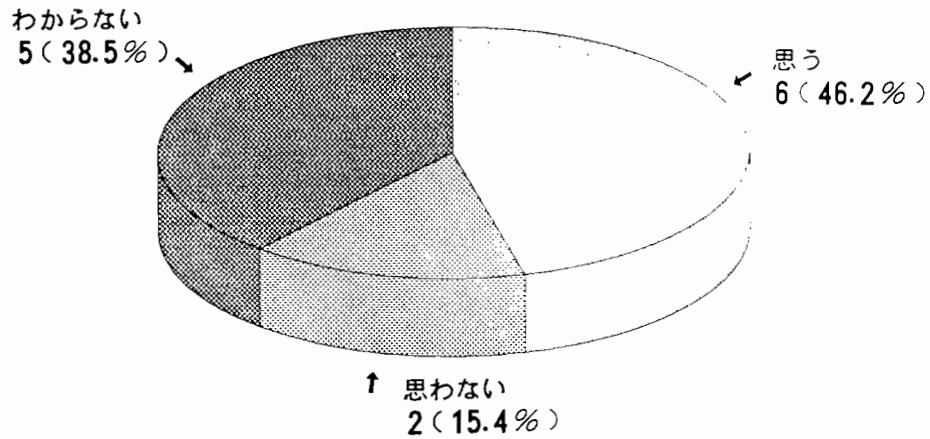
2号で実施した「パソコンと就労意識についてのアンケート調査」に、多くの回答を頂きました。以下に調査結果を報告します。

設問 1. 今までに、パソコンを使った事がありますか？



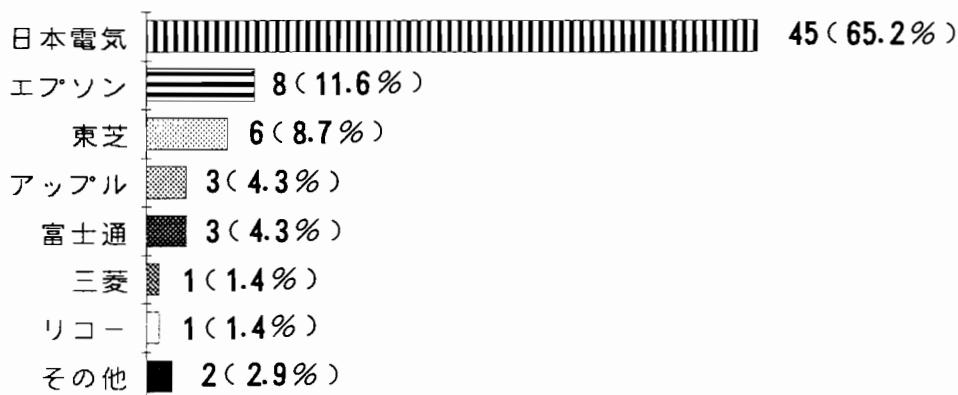
設問 2. 「設問 1. で、ないと答えた方」

これから、パソコンを使って何かしようと思いませんか？



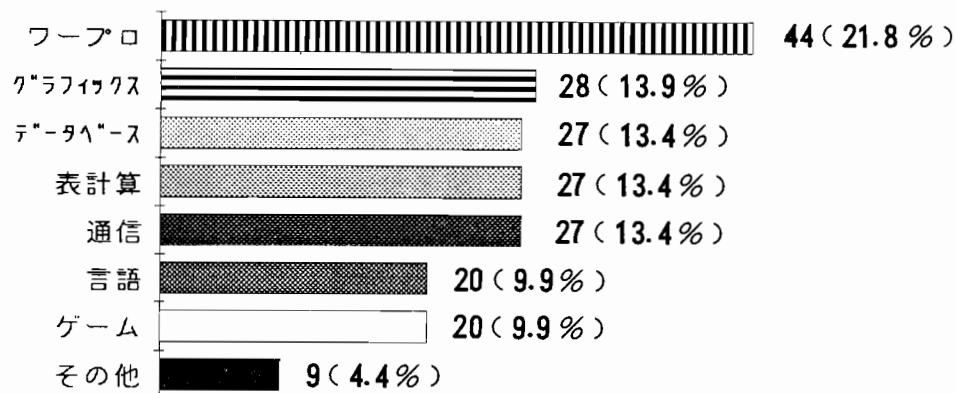
設問 3. 「設問1. で、”有る”と答えた方、及び、設問2. で、”思う”と答えた方」

現在、使用している、又は、これから使用したいと思っている、パソコンは？



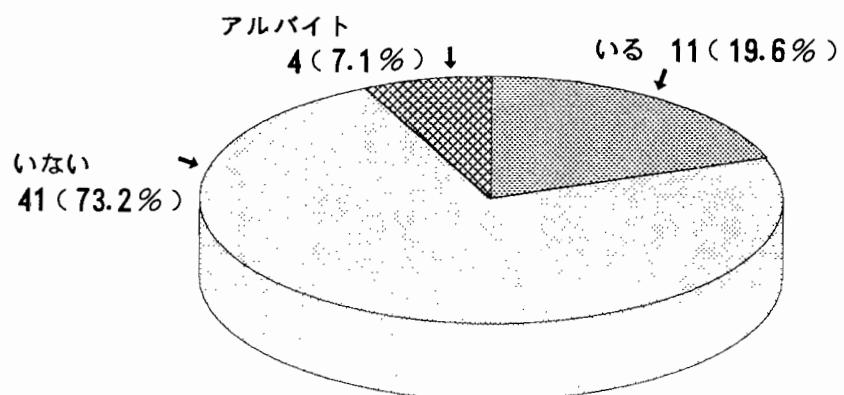
設問 4. 「設問1. で、”有る”と答えた方、及び、設問2. で、”思う”と答えた方」

現在、使用している、又は、使用したいと思っているソフトウェアの種類は？



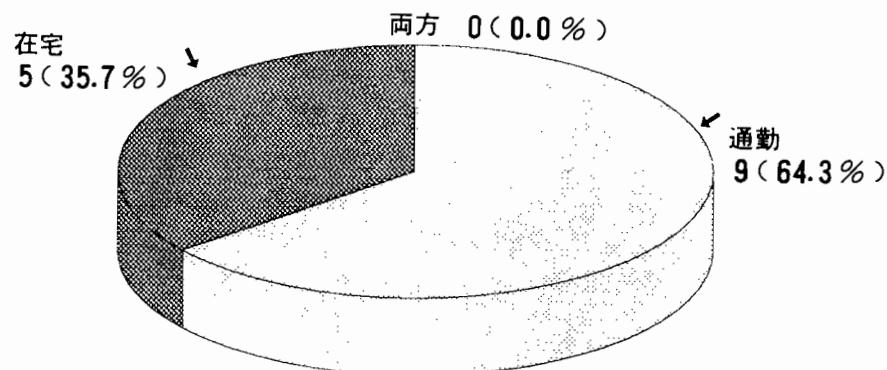
設問 5. 「設問1. で、”有る”と答えた方」

そのパソコンは、仕事（正式雇用）で使っていますか？



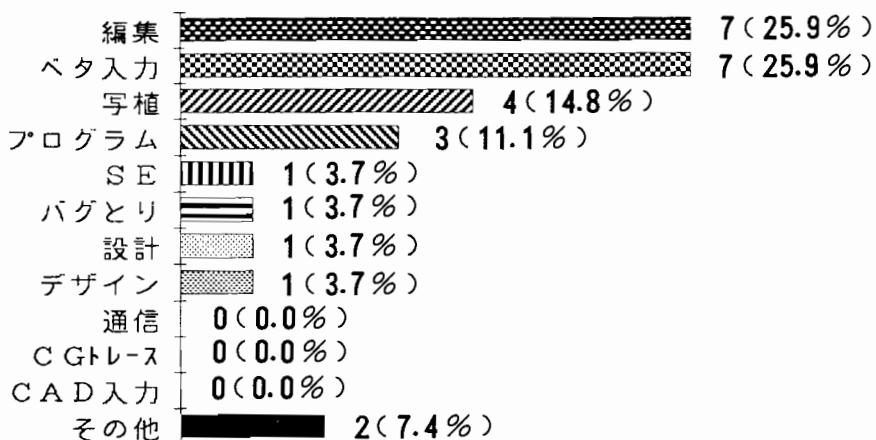
設問 6. 「設問5. で、”いる”と答えた方」

その仕事は、通勤ですか、在宅勤務ですか？



設問 7. 「設問5. で、”使っている”と答えた方」

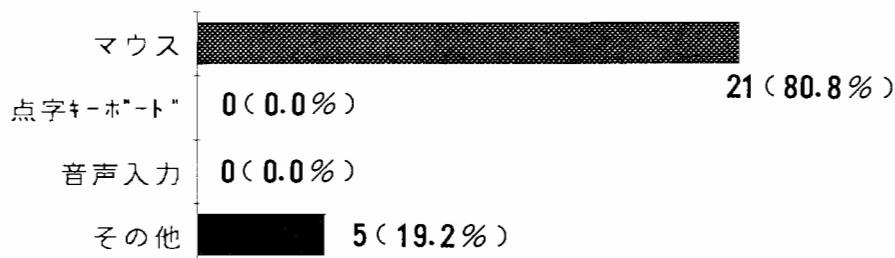
それは、どの様な仕事ですか？



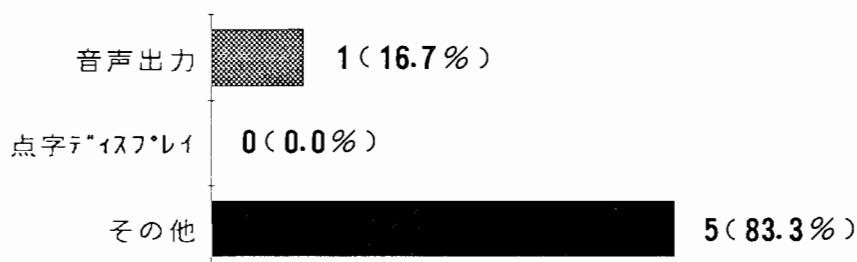
設問 8. 「設問 1. で、”有る”と答えた方」

特殊なシステム（入出力装置、ソフトウェア等）を使っていますか？

【入力装置】

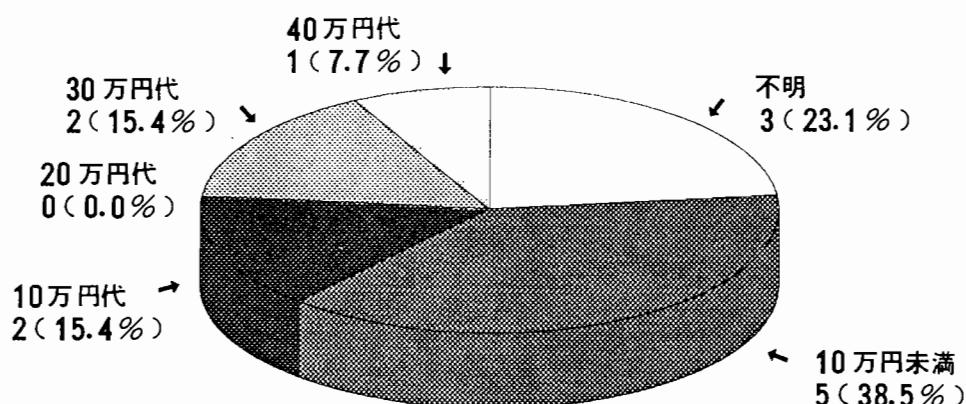


【出力装置】

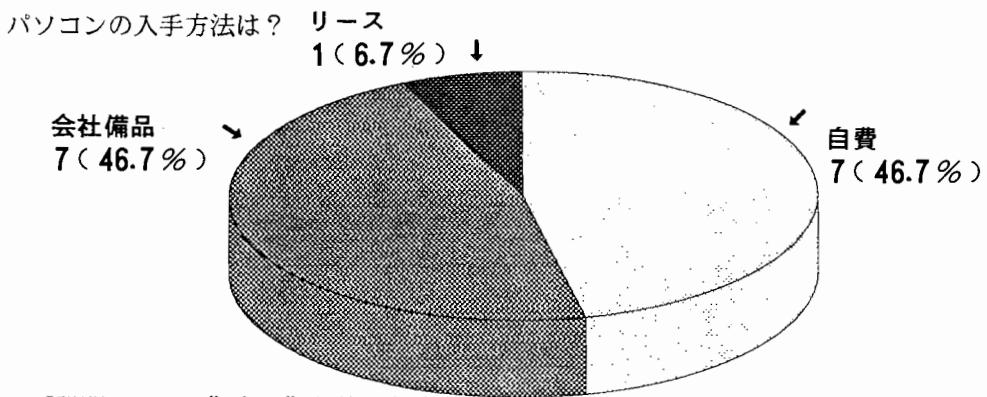


設問 9. 「設問 5. で、”使っている”と答えた方」

報酬は、いくら位ですか？

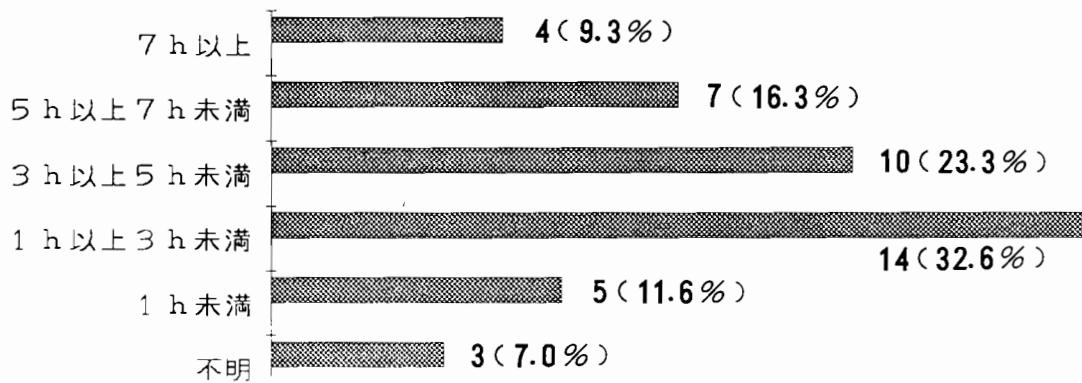


設問 10. 「設問5. で、”使っている”と答えた方」



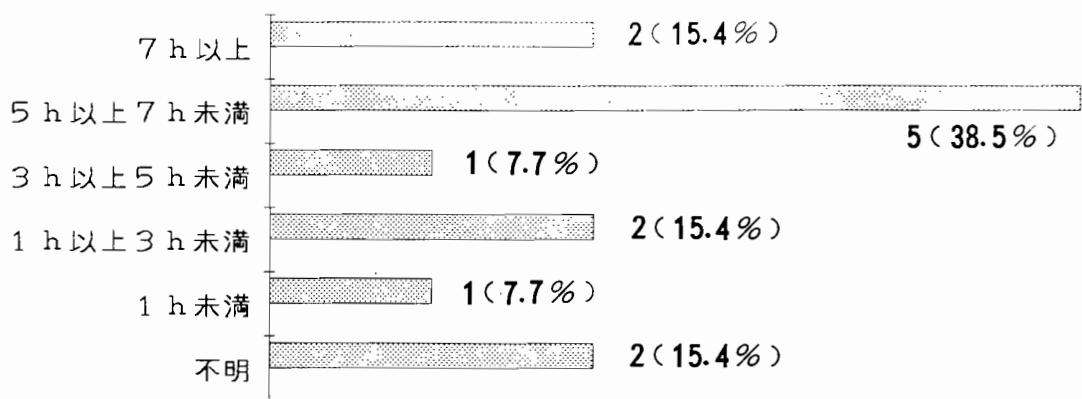
設問 11. 「設問1. で、”有る”と答えた方」

どれ位の時間、パソコンを使いますか？

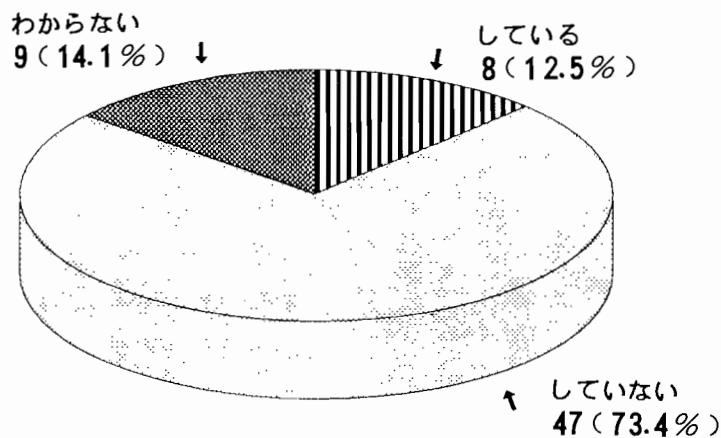


設問 12. 「設問5. で、”使っている”と答えた方」

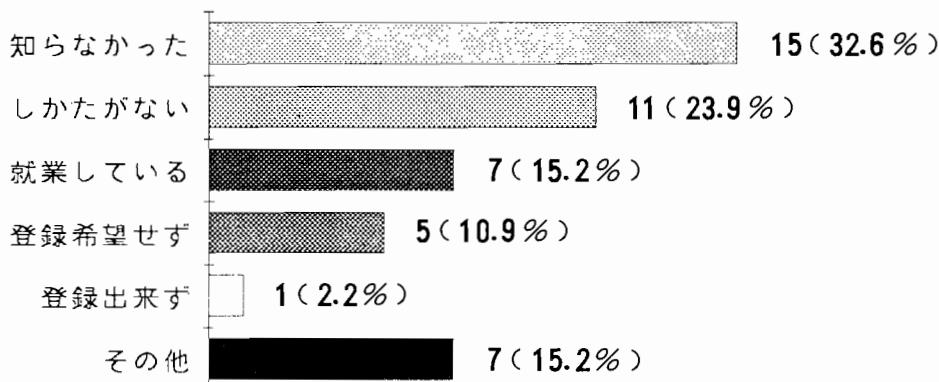
どれ位の時間、パソコンを仕事、アルバイト、内職などに使いますか？



ハローワーク（職業安定所）に登録していますか？

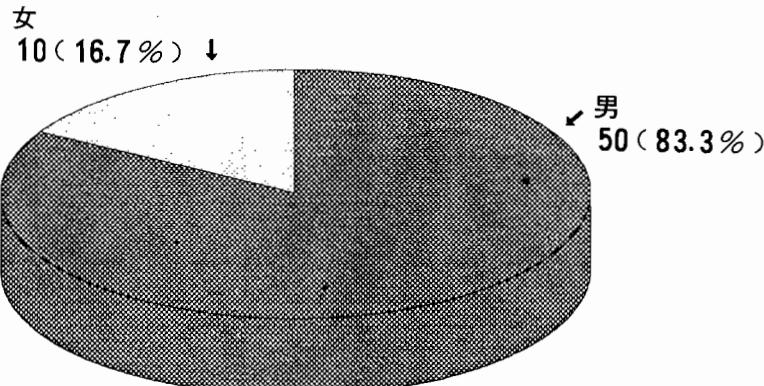


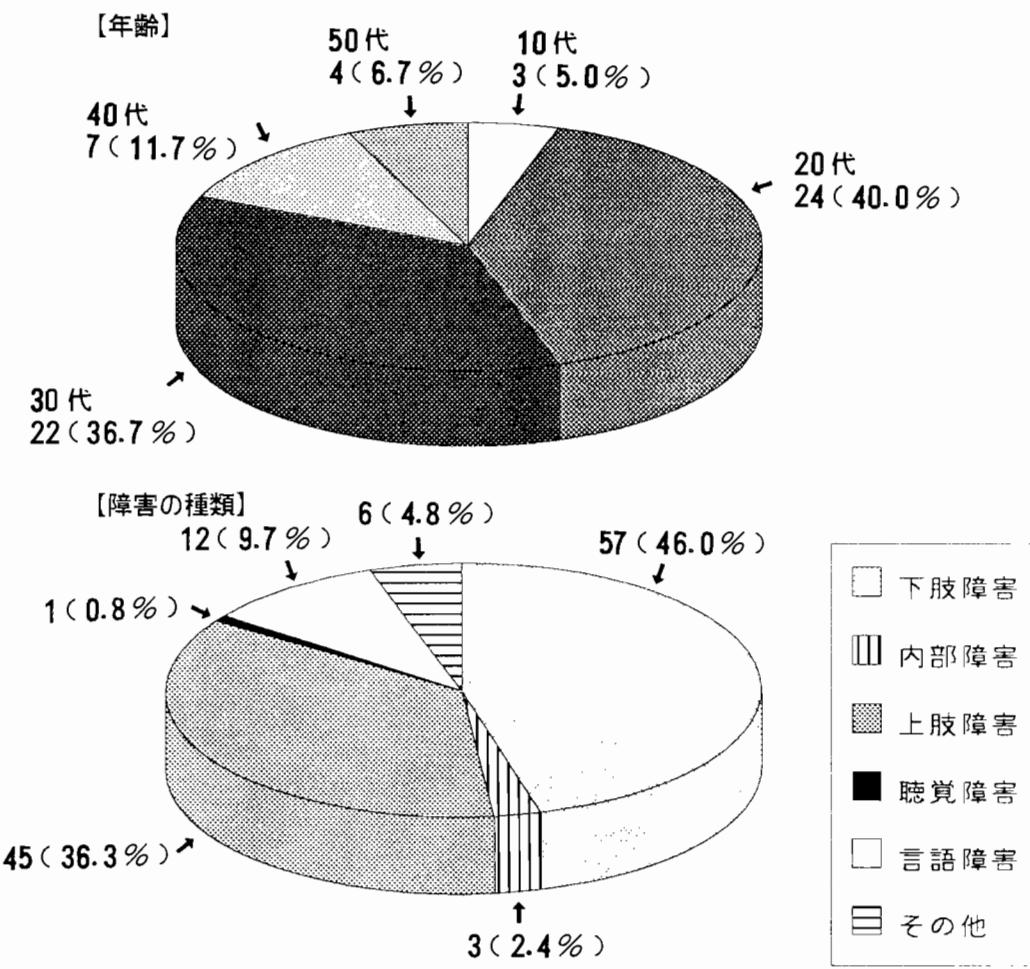
登録していない方、その理由は？



このアンケートに答えて下さった方の内訳

【性別】





《考察》

パソコン自体への興味は、現在使用している、いないに関わらず非常に高いものがあるが、実際に使用していたり使用してみたいと思うソフトウェアはワープロが殆どで、それ以外はどんなぐりの比較といつていい。これは、ワープロ以外でどのようなことができるのか、あるいはワープロ以外のソフトウェアがどのようなのかがあまり知られていない事を示しているように思う。

実際にパソコンを使って仕事をしている人の中で、在宅勤務



の人が以外に多かったように思える。しかし、正規雇用となると殆どが通勤になってしまふ。

仕事の内容は編集関係が殆どでそのニーズの高さが伺えるが、逆に言えば専門性の高い内容への進出はまだまだということになる。

障害者用のサポート機器についてはほとんどが使われていないのが現状のようだが、これは種々のサポート機器の存在すら知らないという情報不足の問題、あるいは既存の物が体にあわないというような問題にも原因があるよう思える。

給料は正規雇用で高度な内容の仕事をしている人はしば抜けてよく、他を圧倒している。障害者の雇用拡大の可能性をこのような職種に見出すことができる。

ハローワークについては予想通り殆どが登録しておらず、その理由として”知らなかつた”ことが第1位になっている。知っていても”しかたがない”や”登録できなかつた”という数字があらわれてくることは予想していたとはい空しいものを感じる。

以上の事から、障害者自身がパソコンやパソコンを利用した職業に興味は示しているものの、具体的な部分になるとどのようにすればいいのか、問題にぶつかった場合の対処方法などの情報が少なく、ただ漠然とパソコンを使っている、あるいは使おうとしている人が多いこと事が想像できる。

プロップ・ステーションとしては、読者を中心とした障害者がもう少しパソコン自体に詳しいと考えていたが、実際には非常に詳しい人とそうでない人に分れていることも分った。そして、そういう状況を踏まえてFLANKERでの情報提供、事業を進めていかなければならぬことを痛感した。

(坂上)

